

僕は夏休みを迎えるにあたって、これまでの生活を振り返り、考えたことがいくつかあります。

一つ目は、学習面です。学級では、自主学習を毎日行ったり、休み時間に予習やワークを解いたりするなど、自主的に学習に取り組む姿勢が見られています。授業では、集中して取り組む人が多く、学習内容についてよく考え、積極的に発言している姿や、ペア活動で考えを深める姿が見られます。また、授業で学んだ内容を、その日や週末にすぐに自主学習で復習する習慣が身に付いている人もいます。このように、この4ヵ月間で良い学習サイクルを築いてきた人は、夏休み中の学習も計画的に取り組む必要があります。一方で、モチベーションを保てずに、簡単な単語や漢字練習で自主学習を済ませるなど、内容の不十分さや学習時間の不足が課題となっています。夏休み中は多くの時間があるので、より良いサイクルを確立し、苦手克服や入試に向けて、少しでも自分のためになる学習を進めて、夏休み明けの授業やテストで苦労しないように頑張りたいと思います。また、夏休み中には、オープンスクールがあります。自分の行きたい高校を決める参考の一つになる絶好の機会なので、積極的に参加し、そこで得た情報を自分の進路選択に生かしていきたいと考えています。

二つ目は、生活面です。今年度から最上級生として、後輩の手本と

なる行動が求められるようになりました。生徒集会の時の態度をはじめ、部活動や委員会で、部長、委員長を務め、気仙沼中学校を引っ張っていく立場として自覚を持って見しました。その行動が、学校全体を良い雰囲気に行っている場面も多く見られました。特に部活動では、新型コロナウイルスの影響で活動が制限されている中でも、真剣に全力で取り組み、最後の中総体では3年間の思いを全て出し切って、後悔がないようプレーしました。しかし、学校生活の慣れや気の緩みによって、言葉遣いや礼儀、メリハリのある生活といった点でふさわしくない行動が見られました。学級目標として掲げた「最高学年として、後輩の模範となるよう行動する学級」が達成できるよう、学級会などの話し合いを通して、改善すべき部分を洗い出し、すぐに改善できるようにすれば、今よりさらに良い学級になると思います。夏休み明けには、気持ちを新たに、自覚ある行動をしていきたいと思っています。また、日頃の生活リズムや家での過ごし方が乱れている人もいます。夏休み期間には、早寝早起きはもちろん、時々外に出てジョギングをするなど、規則正しい生活を心掛けたいと思っています。

夏休み明けには、修学旅行、文化祭という大きな行事があります。中学校生活最後の行事を楽しむためにも、まずは夏休みから生活を改めるとともに、実力テストや1学期期末テスト、その先の入試に向

けて、苦手な部分を克服していくなど、受験生としての自覚を持ち、  
充実した夏休みにしたいと考えています。3年生のみなさん、夏休み  
明けもこの学年でよりよい生活を送れるように頑張りましょう。

3 学年代表 菊田 康平